



## 【P1】永遠のビギナー対策をどう考えるか？

### パネリスト:

学校現場の立場から  
現場の立場から  
企業の人材を育成する側から

桑崎 剛 (熊本県南小国中学校 教頭)  
山本 享 (湘南ふじさわシニアネット)

与儀大輔

(情報セキュリティ教育事業者連絡会[ISEPA])

現場の人材を育成する立場から

会田和弘

(セキュリティ対策推進協議会[SPREAD])

JNSAセキュリティベンダー代表

高橋正和 (マイクロソフト株式会社)

### モデレーター:

SPREAD代表 下村正洋

- ◆ パソコンや携帯電話など情報端末が格段の進歩を遂げ、かつ、それら端末を介してのサービスが高度化し、これらが構成する高度情報化社会を最大限に活用し、その利便性を享受している人々は急速に増加しています。
- ◆ また、この情報化は社会システム(行政サービス、交通、医療など)の基盤となりつつあり、この情報化社会適合能力は現代社会において必要な能力であることは明らかです。
- ◆ しかし、一方でこの環境変化に適合できない人々が出てきているのも否定できない事実です。
- ◆ 情報端末やサービスを上手に利用できない人、また、情報化社会の危険性(落とし穴)を認識出来ない(しない)人が存在します。

- **主 題**

- 学校と家庭、地域コミュニティ、コミュニティのIT支援活動、企業人材育成、IT企業のそれぞれの立場から、どのように取り組み、かつ、連携すればよいのか

- **個別テーマ**

- **テーマ1 . 現状認識**
  - 何が問題で、どのように対処しているのか
- **テーマ2 . 解決方法は**
  - 自らが出来ることと支援(連携)してもらいたいこと
- **テーマ3 . これからの課題とSPREAD**
  - 将来の課題とそのなすべきこと